

名古屋市図書館第 1 ブロックの 施設整備について

目 次

	頁
1 名古屋市図書館第 1 ブロック施設整備方針・・・・・・・・・・	1
2 整備内容・・・・・・・・・・	1
3 アクティブライブラリーの整備・・・・・・・・・・	3

1 名古屋市図書館第1ブロック施設整備方針

「なごやアクティブ・ライブラリー構想」に基づき、第1ブロック（千種区、東区、守山区、名東区）の施設整備に係る方針を令和3年11月に策定したもの

区 分	内 容
アクティブ ライブラリー	○ブロックの中核となる図書館 ・星ヶ丘駅周辺に新たに整備
コミュニティ ライブラリー	○気軽に来館でき、ゆったり滞在できる身近な図書館 ・東図書館、志段味図書館 リニューアル改修等に合わせて整備 ・守山図書館 区内公共施設の再編状況等を勘案しつつ整備
スマート ライブラリー	○便利な場所で、本と出会い、貸出・返却できる図書館 ・名東図書館 区内公共施設の再編状況等を勘案しつつ整備 ・千種区役所等複合庁舎内に整備

2 整備内容

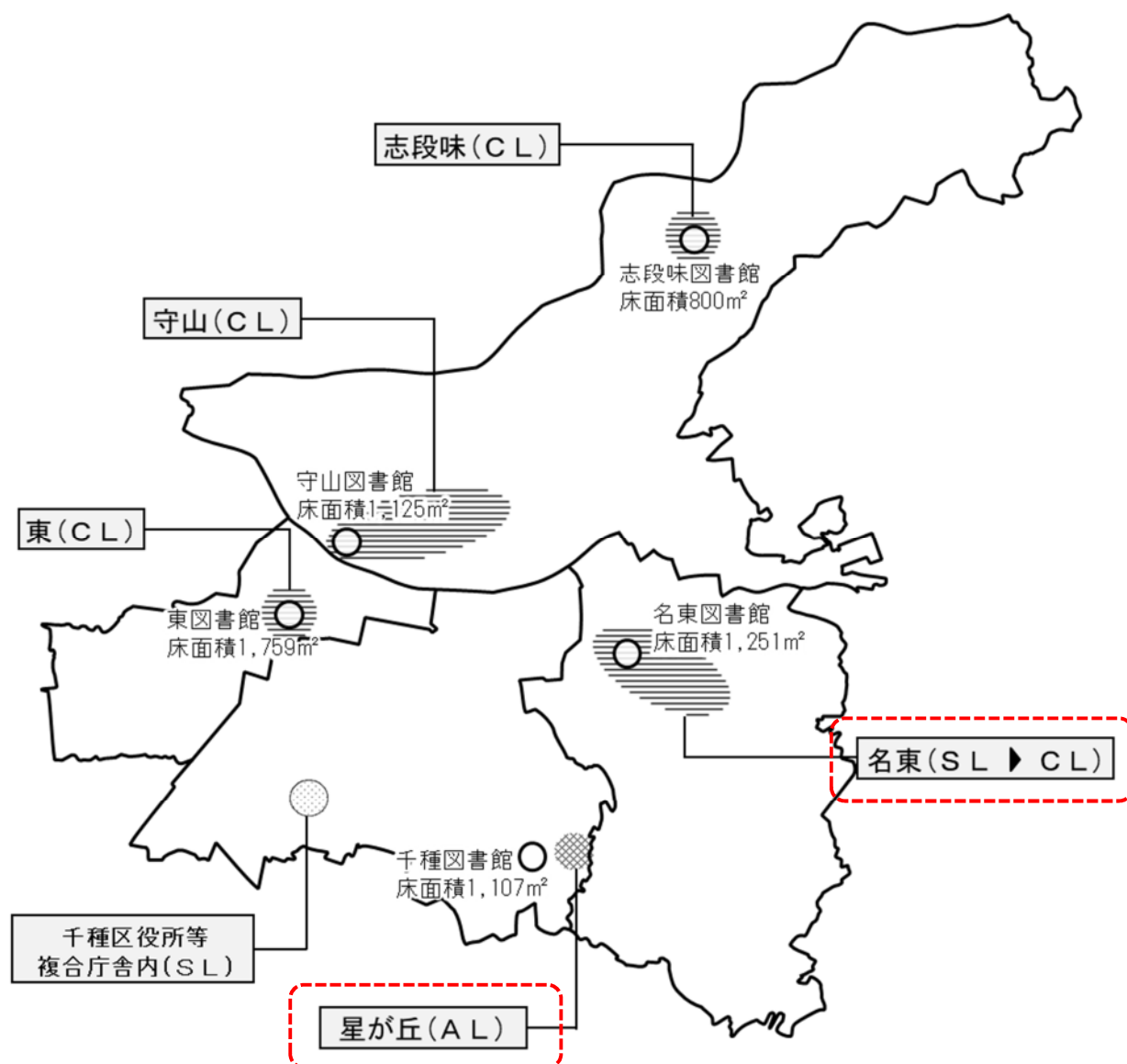
○アクティブライブラリーは、旧星が丘ボウルの跡地に建設される商業棟内に整備する。

○名東図書館については、国及び本市における子ども・子育て支援の重要性の高まりと図書館に期待される役割や名東区に子どもが多いことなどを踏まえ、子ども・子育て層が利用しやすいコミュニティライブラリーとして整備する。

○東図書館及び志段味図書館については、第1ブロック施設整備方針の早期実現に向けて、リニューアル改修時期に関わらず早期にコミュニティライブラリーとして整備するよう、検討をすすめる。

○守山図書館については、周辺の立地特性や区内公共施設の再編状況を注視しながらコミュニティライブラリーとして整備するよう、検討をすすめる。

【第1ブロック全体図】



	A L : アクティブライブラリー	床面積	2, 0 0 0 m ² 程度
	C L : コミュニティライブラリー	床面積	7 0 0 m ² 程度
	S L : スマートライブラリー	床面積	3 0 0 m ² 程度
	現図書館位置		

3 アクティブライブラリーの整備

(1) 経緯

区 分	内 容
平成29年12月	「なごやアクティブ・ライブラリー構想」の策定
30年 6月	星が丘ボウルの地権者である東山遊園株式会社から図書館誘致について提案が示される
令和 3年 5月	所管事務調査「名古屋市図書館第1ブロック施設整備方針（案）について」の実施
7月	第1ブロック4区の区政協力委員協議会で方針案について説明（～3年10月）
10月	整備場所について本市と第1ブロック4区の区政協力委員協議会議長との意見交換を実施
11月	「名古屋市図書館第1ブロック施設整備方針」の策定
4年 6月	整備場所について本市と第1ブロック4区の区政協力委員協議会議長との意見交換を実施
5年10月	第1ブロックアクティブライブラリーの整備検討基礎調査を開始（～6年3月）
12月	東山遊園株式会社から図書館誘致について再提案が示される
6年 8月	整備場所について本市と第1ブロック4区の区政協力委員協議会議長との意見交換を実施
9月	千種区区政協力委員協議会で主な候補地について説明

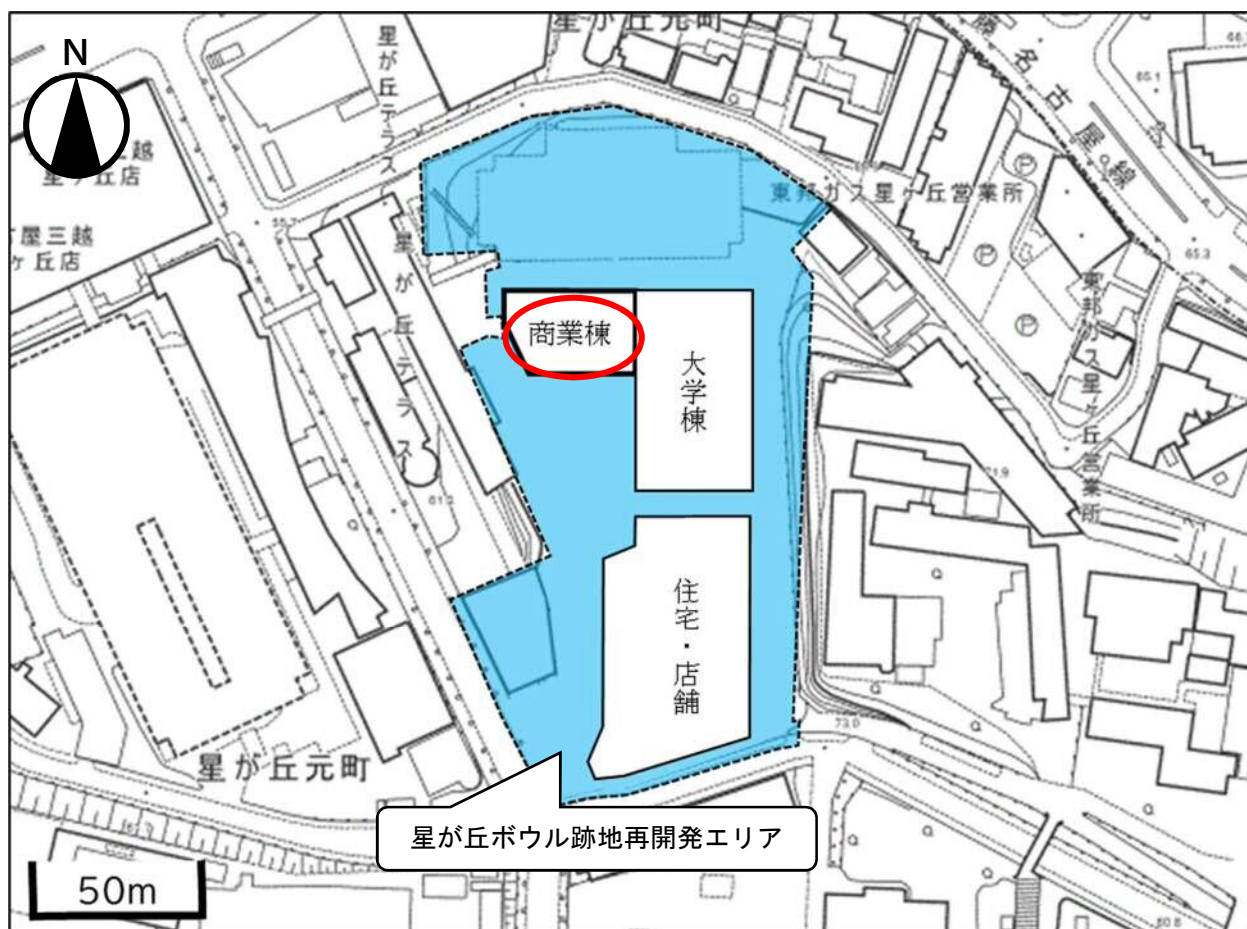
(2) 施設概要

区 分	内 容
名称	星が丘図書館（仮称）
所在地	名古屋市千種区星が丘元町16番45号
延床面積 （図書館部分）	1,800㎡程度（900㎡×2フロア）
フロア構成	1、2階 商業（テナント） 3、4階 図書館（本市区分所有） 5、6階 地権者使用
整備手法	・地権者と共同で最大6階建ての商業棟を建設（椋山女学園大学の大学棟と一体開発） ・本市は3、4階の建築費相当を負担し、区分所有 ・土地は60年の定期借地権を設定（無償）

(3) 位置図



(4) 配置図



(5) 外観イメージ



(6) 特色

ア テーマ

(ア) 多くの人に来てもらう図書館

- ・ 便利でにぎわいのある立地を生かした、気軽に立ち寄りたくなる環境づくり、多様なニーズに対応したサービスの提供などに取り組む。
- ・ 現在の利用者に加え、今まで利用していない方の来館も促し、図書館利用のすそ野を広げる。

(イ) 連携・協働・交流する図書館

- ・ 地域特性を生かし、多様な主体との連携や協働を促進する。
- ・ 人と本や人と人との出会い及び交流の場や機会を創出する。
- ・ 図書館と市民、近隣主体等との関わりを通じて、疑問や課題の解決や新しい気づき、新たな価値の創造につなげる。

イ 主な取組例

区 分	内 容
多くの人に来て もらう図書館	○開館日・開館時間の拡大及び延長 ○本の貸出・返却、予約資料の受取をセルフサービスでスムーズに行える設備及び機器の導入 ○静かに読書や調べものをする、グループで相談しながら学習する、会話や飲食ができるなど、多様な過ごし方ができる空間づくり ○子どもや親子・若者などが気兼ねなく過ごせる居場所づくり ○直感的にわかりやすい資料の並べ方や新刊・話題書の常時配架（一定期間の貸出制限）など、知りたい情報が見つかる工夫 ○司書のおすすめ本の紹介など、利用者の興味・関心を広げる展示 ○レファレンスサービスの充実 ○多種多様な講座・イベント等の開催

区 分	内 容
連携・協働・交流 する図書館	○近隣商業施設との連携 ・店員による講座等の開催 ・店舗への図書の貸出 ・店舗と連携したコーナーの設置 ○椙山女学園大学との連携 ・学生による読み聞かせの実施 ・教員による講座等の開催 ○菊里高等学校との連携 ・活動や学習の成果を図書館で発表 ・生徒の意見を反映させた棚づくり ○東山動植物園との連携 ・飼育員等による講座の開催 ・動植物園でのおはなし会の開催 ○学校図書室の運営支援 ・学校図書室の選書や配架への助言 ・学校司書に対する研修や情報提供 ○地域の声を生かした図書館運営 ○ボランティアの育成や活動の支援
その他	○周辺施設の有効活用 ・屋外共用空間でのおはなし会の開催 ・大学棟での講座の開催 ○館外サービスの充実 ・自動車図書館の配置及び活用

(7) 各フロアのコセプト

区 分	内 容	
3 階	○気軽に楽しめるフロア ・興味がわく・何気なく立ち寄りたくなる ・会話や飲食ができ、周囲に気兼ねなく過ごせる	
	エントランス	○期待でわくわくする場所 ・新刊書や話題の本が常にそろい、知的好奇心をくすぐる ・知りたい情報や知らなかった情報に出会える
	交流スペース	○わいわい交流できる場所 ・グループで使える席で、仲間とともに学びあえる ・オープンスペースで、気軽にイベントに参加して体験を共有できる
	親子スペース	○親子がのびのび過ごせる場所 ・親子でふれあいながら本に親しめる ・カーペットスペースなどで、子どもが靴を脱いで自由にくつろげる
4 階	○落ち着いて過ごせるフロア ・時間を忘れて本や読書の楽しさを味わえる ・役に立つ知識や情報を得て、疑問や課題が解決できる	
	閲覧スペース	○個人でゆっくり過ごせる場所 ・多様な座席で読書や自習など、それぞれの過ごし方や使い方ができる
	調査・研究スペース	○じっくり調べて学べる場所 ・専門書やデータベースなどを使って、集中して調査及び研究に取り組める ・司書のサポートにより、新たな気づきや課題解決のヒントが得られる

(8) 今後の予定

区 分	内 容
令和 7 年度	躯体設計・工事
8 年度	躯体工事、内装設計
9 年度	内装工事
1 0 年度	開館